

「富士山を詠む」俳句賞

一般の部

選評: 甲斐遊系

富士山人賞

選評 学園生活のなかにある富士山。「田草取」の児童を富士山は見守り、励まし続けている。だから「五年一組」の全員ががんばれる。

富士揺らし五年一組田草取

富士宮市 小澤円梨

富士山地賞

選評 日常のなかにある富士山。「ひまわりの迷路」を無事歩き終えて「仰ぐ富士」。富士山もぎつとに「こり」と微笑んでくれたことだろう。

ひまわりの迷路抜け来て仰ぐ富士

山梨県中巨摩郡昭和町 吉野満恵

富士山天賞

選評 生活のなかにある富士山。きつと、長く富士山の麓で暮らして来たのだろう。農業の中に、四季それぞれの富士山が関わりをもっているのだ。

富士山の映るまで田に水を張る

神奈川県厚木市 北村純一

佳作

車窓より富士一景の風光る

茨城県石岡市 松崎淑子

富士の風翼に燕巣立ちけり

富士市 神田美穂子

あをあをと富士の裾野の余り苗

浜松市 稲津とし子

目ん玉に富士の全景鬼やんま

東京都練馬区 鈴木英晴

雪解富士湾に潜める深海魚

栃木県宇都宮市 大門とよ子

鷹の飛びぐらりと富士を傾ける

富士宮市 黒田清江

たつぷりの富士山の水走り蕎麦

浜松市 松本憲資郎



全国各地から合計3,939句の応募がありました。
作品集は、3月中旬以降、市役所6階文化課で無料で配布します。

問 文化課 ☎22-1106 FAX 22-1209



小中学生の部

選評:渡井恵子

富士山人賞

選評 コロナで少なかった登山者も今年は多く来てくれたようです。じっくりと富士山を登ってゆく灯が切れ目なく列なつてゆく。その「光」を「道」と捉えたことが自分の発見であり、目の前に見える佳句となっています。

夜の富士登山の光道となる

東小学校五年 小山悠心

富士山地賞

選評 お父さんとお母さんツバメがあたためた卵から、ひなが生まれました。そのツバメの子がさいしよに見たのが富士山。それはずーっとすを見ていたから気がついたことですね。ぶじに生まれたツバメの子を見る目に、やさしいきちがあらわれているかわいいう句です。

ツバメの子生まれてすぐに富士を見る

柚野小学校五年 佐野芳教

富士山天賞

選評 琴座のベガ、鷲座のアルタイル、白鳥座のデネブ。この三つの一等星を結ぶと三角になる。これを大三角と言ひ、夏の星王の目印になっています。夏の夜の寝苦しさを少し忘れさせてくれる星々です。スケールも大きく季語も選んで使っている秀逸な句です。

熱帯夜富士山照らす三角形

富士宮第四中学校二年 望月咲来

佳作

いねのほが富士にむかってごあいさつ

東小学校二年 小島悠翔

かみさまがいっぱいいるよふじのやま

黒田小学校一年 原隆之佑

見てよ富士夏のサッカー3点目!

黒田小学校四年 丸山なお香

秋晴れの運動場に富士の山

大宮小学校六年 長坂南穂

蹴り上げたボールの先に夏の富士

貴船小学校六年 大石絢斗

みあげればくもがもくもくふじ

富士見小学校一年 桂谷心奏

天の川富士の山にも星の列

富士宮第一中学校一年 土屋亮瑛